

# 大規模土砂災害を想定した危機管理演習を実施

～過去の災害を教訓として、確実な災害対応を目指して～

大規模な土砂災害発生時の対応を的確に行うことを目的に、関係機関による危機管理演習を、10月22日(金)に庄内町狩川公民館において実施します。

演習は立谷沢川流域(庄内町)において、大規模土砂災害(河道閉塞等)が発生したことを想定し、学習型訓練<sup>※1</sup>により実施します。

令和2年7月の豪雨災害、令和元年8月九州北部での豪雨災害など、近年、全国的に局地的な豪雨がもたらす土砂災害が頻発しています。

当事務所管内でも、平成24年4月に大蔵村肘折地区において地すべり性の土砂災害や演習の対象である立谷沢川においても平成23年に濁沢池ノ台地区で深層崩壊による土砂災害がありました。

訓練は、参加者全員が災害対応行動を確認するとともに、関係機関が一堂に会することにより「顔の見える関係」を構築し、迅速かつ確実な災害対応が出来るよう行うものです。

## 記

1. 演習日時 令和3年10月22日(金) 13時～15時30分
  2. 演習会場 庄内町狩川公民館 (住所:山形県東田川郡庄内町狩川大釜11-1)
  3. 参加機関 山形地方気象台、山形県、庄内町、庄内警察署、酒田地区広域行政組合消防署、新庄河川事務所
  4. 参加者 約30人
  5. 訓練項目 ○学習型訓練: 防災体制の構築、河道閉塞、地すべり等への対応など
- ※1「学習型訓練」及び「スケジュール」については、【別紙-1】をご参照下さい。

<発表記者会:鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会>

### 問い合わせ先



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所  
〒996-0071 新庄市小田島町5-55 TEL 0233(22)0262

副所長(砂防) 木村 晃 (内線 205)

調査課長 土門 弘和 (内線 351)



庄内町  
〒996-7781 東田川郡庄内町余目字町132-1 TEL 0234-43-2404

環境防災課 危機管理係長 池田 省三

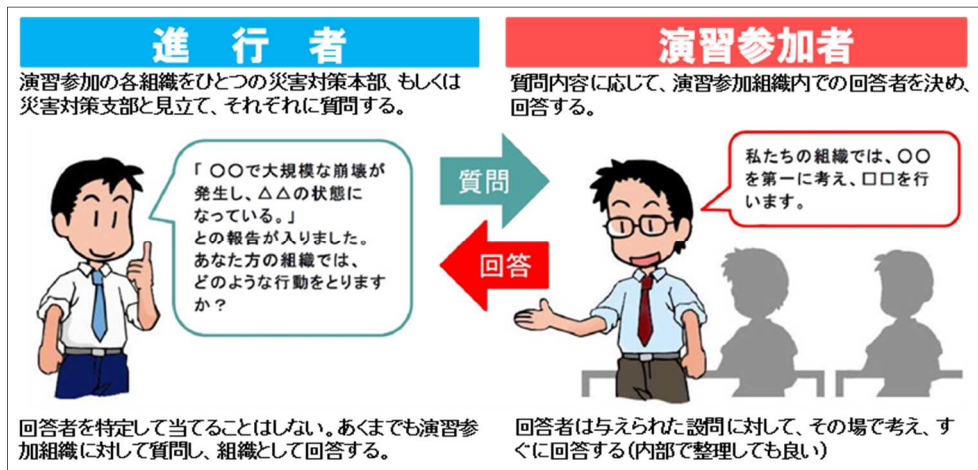
## ■ スケジュール

【別紙－1】

実施事項	時間
開会、演習の進め方の確認	13:00～13:15
<b>合同防災演習</b>	
ステージ1【豪雨に対する土砂災害警戒避難対応】	13:15～15:00
ステージ2【豪雨に伴う土砂災害対応】 ■同時多発的土砂災害：情報収集～現地調査・避難勧告等の判断～避難 ■河道閉塞・地すべり：情報収集～事前調査～緊急調査～土砂災害緊急情報～避難	
ステージ3【地すべり及び河道閉塞に係る連絡調整会議（現地対策本部）】	
意見交換	15:00～15:20
全体講評、閉会	15:20～15:30

## ■ 訓練方法（※1学習型訓練）

「進行者」と「訓練参加者」にわかれ、想定した災害シナリオに則して状況付与を行った上で、「進行者」は「訓練参加機関」に、その対応について様々な「質問」をし、「訓練参加機関」は「回答」する形式で進行します。



会場全景



回答状況



解説者の解説

訓練実施事例(鶴岡市 令和2年10月)  
赤川流域「大規模土砂災害危機管理演習」